

予算決算



影岡委員長

令和3年度当初予算

◎総務部所管

問 以前から防災行政無線が聞こえにくいという声を聞く。設備の改良や増設の予算は。

稲田

答 難聴対策用の予算を毎年計上し対応している。要望のあった所を調査し、改善工事を行っている。

問 災害時の備蓄品購入費1041万円の財源は。

岡井

答 大規模地震災害対策基金の3億円から取り崩して備蓄品を購入する。

問 県防災関係システム等負担金が大幅に減額となった要因は。

田中

答 令和2年度内に高度化システムの整備が完了するため。

防災対策等、町の安全・安心を強化する事業など、暮らしに関わる予算を審査

問 庁舎管理委託料は、昨年対比684万円減額だが、事業総額では747万円増額となっている。内訳は。

田中

答 予算はほぼ同額である。資料へ記載する際に、昨年度は委託料全額を記載していたが、今年度は委託料の中でも庁舎管理に係るもののみを記載したため比較して減額となった。

問 令和2年度より国土強靱化計画に基づき事業を実施しているが、当初予算に事業費を計上していない。進捗状況と今後の取組は。

田中

答 令和2年度内に計画を策定し、以降計画に基づき各事業を実施し、進捗管理も行っていく。計画策定の段階で現在既に進行している事業についても計画に位置付けていくものもある。令和3年度の当初に計上されているものもある。既存の事業は既に計上され事業は進んでいる。

◎産業建設部所管

問 工場等設置奨励金の交付は妥当か。

村井

答 試験研究施設増設に伴い、令和2年度から東レ愛媛工場の固定資産税額が増額となるため、町の利益になっている。

問 鳥ノ木北団地の住民の同意がないのに南黒田工業団地整備調査委託料を計上している。なぜ先に企業誘致を進めるのか。

加藤

答 課題である洪水及び洪滞緩和対策を正確に説明している。環境対策においては

企業が決めなければ業務内容の説明ができない。企業アンケート調査の実施に当たっては、鳥ノ木北団地の住民に丁寧の説明を行う。

問 伊予市が協力してくるかどうかの見込みは。

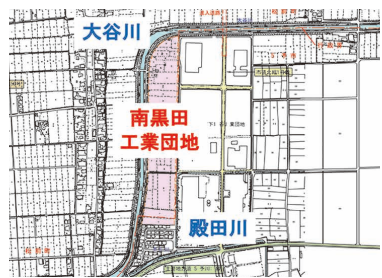
村井

答 伊予市の都市整備課と連携し協議を行っている。職員間でも連携し、事業を進めたい。

意見

地権者の大多数が賛成でも少数が反対すれば実施できなくなる。ある程度全員に確約を取るなど、後で問題にならないよう手続きをしてほしい。

伊賀上



南黒田工業団地の早期実現に向けて

問 町道西75号線設計業務は、宗意箱住宅の建替のための進入道路を計画しているという認識で良いのか。

伊賀上

答 建替えをするにしても今の状況では重機等が入らない。道路がなければ有効利用が図れない。予備設計の中で必要な幅員を計画していきたい。

問 筒井地区雨水対策事業に伴う、雨水貯留施設基本設計業務の事業内容は。

伊賀上

答 基本設計を専門業者に委託し、貯留量を検討したうえで、面積、大きさの設計をしていきたい。

問 住環境改善事業予算の設定根拠は。

藤岡

答 除却工事は前年度見込みで予算計上している。

◎教育委員会所管

問 中学校の指導用図書購入の理由並びにデジタル化に向けた取組は。

村井

答 教科書採択があり令和3年度から教科書が変わるため、購入が必要になる。

学校での授業は、現時点では紙の教科書を使用しており、デジタル化は、まだ先になる。

村井

問 環境教育推進事業の内容は。

村井

答 愛媛県教育委員会の指定を受け、令和3年度と4年度に北伊予小学校で事業を実施する。毎年様々な事業の研究指定依頼があり、各学校の指定状況等を考慮して実施校を決定した。

問 ホッケー場観客スタンド設置の概要は。

伊賀上

答 約100名収容できるアルミ製ベンチの設置を考えている。

問 熱中症防止のための屋根は設置しないのか。

田中